

科目名 小児看護技術 時間割表記名 小児看護技術	配当時期 2年次 後期 単位数 1 単位 時間数 15時間(8回)	講義担当者 古閑 もも 村上 茉弥	
事前学習内容 小児の看護技術の動画を事前に視聴し、事前学習をレポートにまとめて演習に参加する。			
授業目標 1. 小児看護に必要なアセスメントについて理解できる。 2. 小児看護に必要な看護技術が習得できる。			
DPとの関連 DP1. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP2. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 子どものアセスメントに必要な技術 1)コミュニケーション 2)呼吸・循環・体温 3)一般状態	講義	テキスト①②
2	3. 子どものバイタルサインの測定とアセスメント 1)測定の特徴と工夫 【バイタルサインの測定(呼吸、脈拍・心拍、血圧、体温)】 【身体測定】	講義 演習	テキスト①②
3	2. 症状を示す小児の看護 1)痛み 2)発熱・脱水 3)消化器症状(嘔吐・下痢・便秘)	講義・グループ学習	テキスト①②
4	4. 検査・処置を受ける小児の看護 1)子どもにとっての検査・処置、看護の実際	講義 演習	テキスト①②
5	2)与薬:経口与薬・座薬挿入 3)検体採取【採血時の抑制】【採尿バックの貼付】		
6	4)点滴固定・管理【シーネ固定と観察】	講義 演習	テキスト①②
7	5)骨髄穿刺【体位固定と観察】		
8	筆記試験(45分)	試験(筆記)	
受講上の注意 ○講義と技術演習を行う。 ○技術演習では、事前に技術項目については事前に動画を視聴し、各自で学習した上で参加する。			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 小児看護学1 小児看護学概論 小児看護学総論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 小児看護学2 小児臨床看護各論 医学書院 ③写真でわかる小児看護技術アドバンス インターメディカ			